

鹿児島県ドクターヘリ



I.鹿児島県ドクターヘリ事業

1. ドクターヘリとは?

救急医療に必要な機器及び医薬品を装備し、救急医療の専門医（フライトドクター）と看護師（フライトナース）が同乗し救急現場等に向かい、現場等から医療機関に搬送するまでの間、患者に救命治療を行う専用のヘリコプターです。鹿児島県ドクターヘリは、鹿児島市立病院が実施主体となり鹿児島市立病院救命救急センターを基地病院として、平成23年12月26日から運用を開始しました。

ドクターヘリの導入により、救急搬送時間の短縮による救命率の向上や後遺症の軽減が図られるとともに、へき地における救急医療体制の強化、災害時の医療救護活動等も期待されております。

2. 鹿児島県ドクターヘリ運航要領

ドクターヘリ要請基準について

- ① 119番内容からドクターヘリを要請した方が良いと消防職員が判断する場合

原則として**キーワード方式**としています。

キーワード方式：119番通報内容に「倒れている」「閉じ込められている」「息ができない」などキーワードとしてリストアップされている言葉が1つでも含まれていた場合、消防職員が機械的にドクターヘリの出動要請を行うシステムです。他県のドクターヘリシステムにおいて、キーワード方式による出動までの時間短縮効果が認められていることから、鹿児島県でも採用することとなりました。

- ② 救急隊現場到着時、ドクターヘリを要請した方が良いと救命士あるいは救急隊員が判断する場合

医師による早期の治療が必要と判断した場合に、消防機関からドクターヘリ運航管理室に要請します。

③ 施設間搬送の場合

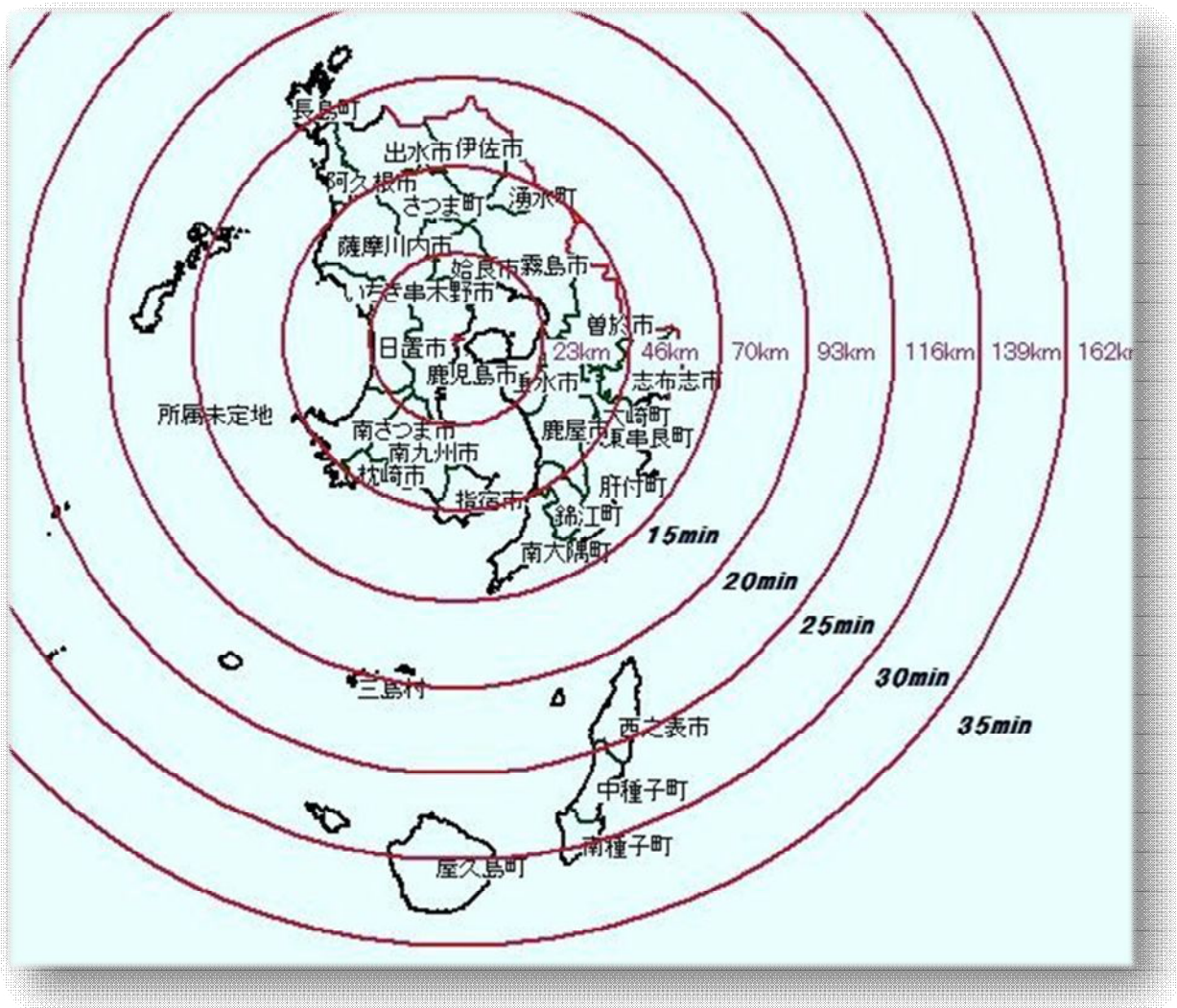
新生児や妊産婦を含め、患者の生命に関わる等の理由から、ドクターヘリによる搬送が必要であると搬送元医療機関(医師)が判断した場合にもドクターヘリを要請することが出来ます。

但し、一般住民の方が直接要請する事はできません。

3. 出動～患者搬送フローチャート

出動要請後、直ちに、鹿児島市立病院救命救急センターに待機するフライトドクター1名（または2名）、フライトナース1名（または2名）は浜町ヘリポートまで緊急車両（ラピッドカー）で移動し、運航の豊富な知識と経験を有する操縦士・整備士（各1名）とともにドクターヘリに搭乗し、浜町ヘリポートを離陸します。機内には救命救急に必要な医療機器や医薬品が常備され、傷病者の状態にあわせて、出動時点から救命処置の準備を整え現場に直行します。

4. 運航範囲



運航範囲は県本土，甌島，熊毛地域，三島村，十島村（一部）です。

5. 運航時間

ドクターヘリは毎日運航します。有視界飛行での運航に限られるため、運航時間は午前8時30分から日没前までとなっています。悪天候で視界不良の場合は、この時間内であっても飛ばない場合があります。

基地ヘリポート：鹿児島空港

出動ヘリポート：浜町ヘリポート

6. ランデブーポイントについて

離着陸場所のうち傷病者を乗せた各消防機関の救急車とドクターヘリが合流する場所をランデブーポイントといいます。

県内にランデブーポイントは学校のグラウンドや公園、球技場など644カ所（平成24年1月11日現在）が選定されています。その中から救急現場に最も適したランデブーポイントに着陸し、救急車で運ばれてきた患者に救命医療を開始します。

ドクターヘリが離着陸する場合には、消防隊員の指示に従い、着陸場所からの速やかな退避など、みなさまのご協力をお願いします。ドクターヘリの離着陸時に砂埃、騒音が発生します。

7. 搬送先医療機関

県内にドクターヘリ搬送先医療機関として基地病院以外に31医療機関が指定されています。

8. 鹿児島県ドクターヘリ機体性能・仕様



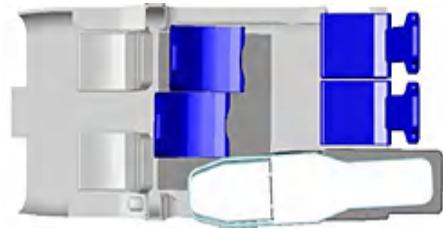
アグスタウェストランド社 AW109SP (GRAND NEW)

ドクターヘリとしてのAW109SP (GRAND NEW)は鹿児島県が初導入となりました。高速性能・飛行安定性・航続距離に優れ、広い鹿児島県には待望の機体です。サイドローディング（横ドアからの傷病者搬入）はドクターヘリとしては初となります。開口部は横幅140cm、高さ110cmと広いため搬入作業は容易です。

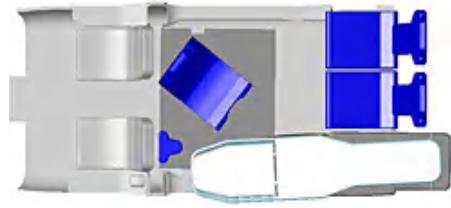
飛行速度 : 最高速度 311km/h、実運用速度（往路）278km/h、実運用速度（復路）260km/h はこれまでのドクターヘリと比較して約1.2-1.25倍の速度です。



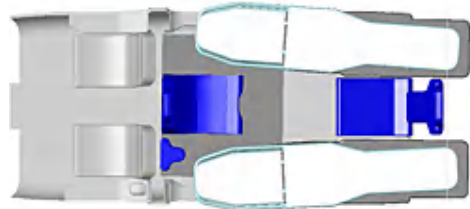
乗員人数 :	7名 操縦士1名 整備士1名 フライトドクター1名 フライトナース1名 患者1~2名 その他1名
キャビン寸法 :	最大長 2.30m 最大幅 1.61m 最大高 1.28m キャビン容積 3.90m ³ 後方貨物独立スペース容積 0.95m ³
全 長 :	12.96m
全 幅 :	7.76m
全 高 :	3.44m
最大離陸重量 :	3,175kg
最大航続距離 :	727km
最大航続時間 :	3時間39分
搭載医療機器 :	ストレッチャー(状況により2名分)、 酸素ポンペ、モニター、バックボード、 除細動器、各種医療品、吸引器、 ドクターズバッグ、人工呼吸器、 その他の医療機器



患者 1名 : キャビン内 3名
ドクター・ナース・家族付添人



患者 2名 : キャビン内 2名
ドクター・ナース



9. 消防・防災ヘリとの違い

政令指定都市や都道府県は消防・防災ヘリコプターを保有しています。消防・防災ヘリコプターも救急患者の搬送を担っており、使用は増加しています。しかし、機材が他の任務と兼用である事、病院に所属していないので医師が乗っていない事、病院によって医師をピックアップする場合には救命に時間を要することなどから、出動要請から短時間でフライトドクターやフライトナースが搭乗し出動するドクターヘリとは大きく異なっています。